

「旧高洲第二中学校跡施設の利活用についての要望書（令和3年12月）」の対応状況

要望事項

1

災害に備え、地域の防災・減災の活動拠点としての機能を充実させること

地域の防災活動の拠点機能の強化、福祉的な避難所整備、地域防災力の強化を推進する活動拠点

対応詳細

- 校舎・体育館は既存の建物を残したうえで、学びの多様化学校・教育センターとして活用します。建物のスペースを利用して、引き続き避難所として活用する予定です。
- 新たな防災倉庫の整備を今後検討します。
- プールは解体しますが、防火水槽やマンホールトイレの設置を今後検討します。

要望事項

2

学校跡施設の利活用については、高齢者支援や子どものための施設整備に関して十分に配慮し、検討すること

子育て世帯や高齢者が集い交流・親睦が図れる場所、地域の諸団体が利用できる場所、高齢者支援施設の誘致

対応詳細

- 高齢者のための施設として特別養護老人ホーム、子どものための施設として保育所の整備を予定しています
- 特別養護老人ホーム整備運営事業者公募にあたっては、地域で活動するためのスペースとして「地域交流スペースの設置」を要件とします。

要望事項

3

地域住民の健康、学習意欲向上に寄与する活動の拠点として活用すること

教室の一部を地域利用のために整備、高洲CC利用者増への対応

対応詳細

- 多様化学校との動線分離や学校のセキュリティ確保を検討したうえで、地域の方が使用できる空間について今後検討していきます。

要望事項

4

体育館や校庭はスポーツ団体が利用できるよう整備すること

青少年の健全育成、地域のスポーツ振興のため、施設の継続利用と整備

対応詳細

- 体育館は学びの多様化学校の開校後、学校体育施設開放を予定しています。
- 校庭部分には駐車場や広場として活用できるスペースを整備予定です。面積はテニスコート3面分程度に見込まれるため、団体利用には適さないと考えられますが、地域の方も使用できる空間としての活用を検討していきます。

要望事項

5

地域活動支援センターとして、地域住民の地域活動の拠点として活用すること

資料整備・用品保管・会議室不足解消を図るため、教室の一部を地域活動の拠点として活用

対応詳細

- 【再掲】多様化学校との動線分離や学校のセキュリティ確保を検討したうえで、地域の方が使用できる空間について今後検討していきます。
- 【再掲】特別養護老人ホーム整備運営事業者公募にあたっては、地域で活動するためのスペースとして「地域交流スペースの設置」を要件とします。

「旧高洲第二中学校跡施設の利活用についての要望書（令和3年12月）」の対応状況

要望事項

6

学校跡施設の利活用に係る取り組みは、決定事項を説明するだけでなく、計画段階から地域住民の利益を十分に考慮して、理解を得ながら進めること

対応詳細

- 旧高洲第二中学校利活用検討委員会の会議への参加、住民説明会の開催、市民意見募集の実施などにより、ご理解を得ながら進めています。

要望事項

7

学校跡施設の利活用が決定するまでの期間は、地域住民の生活と安全に支障のないように管理し、社会教育活動等での活用や学校体育施設開放、避難所などの事業を継続すること

対応詳細

- 現在入居中の稲毛国際中等教育学校が退去後も避難所運用は継続します。
- 令和7年1月以降は施設管理者が不在となるため、学びの多様化学校の開校まで学校体育施設開放はできない見込みです。

要望事項

8

学校跡施設を民間事業者等へ売却はしないこと

対応詳細

- 売却は行わず、民間に土地を貸す形で整備をします。